

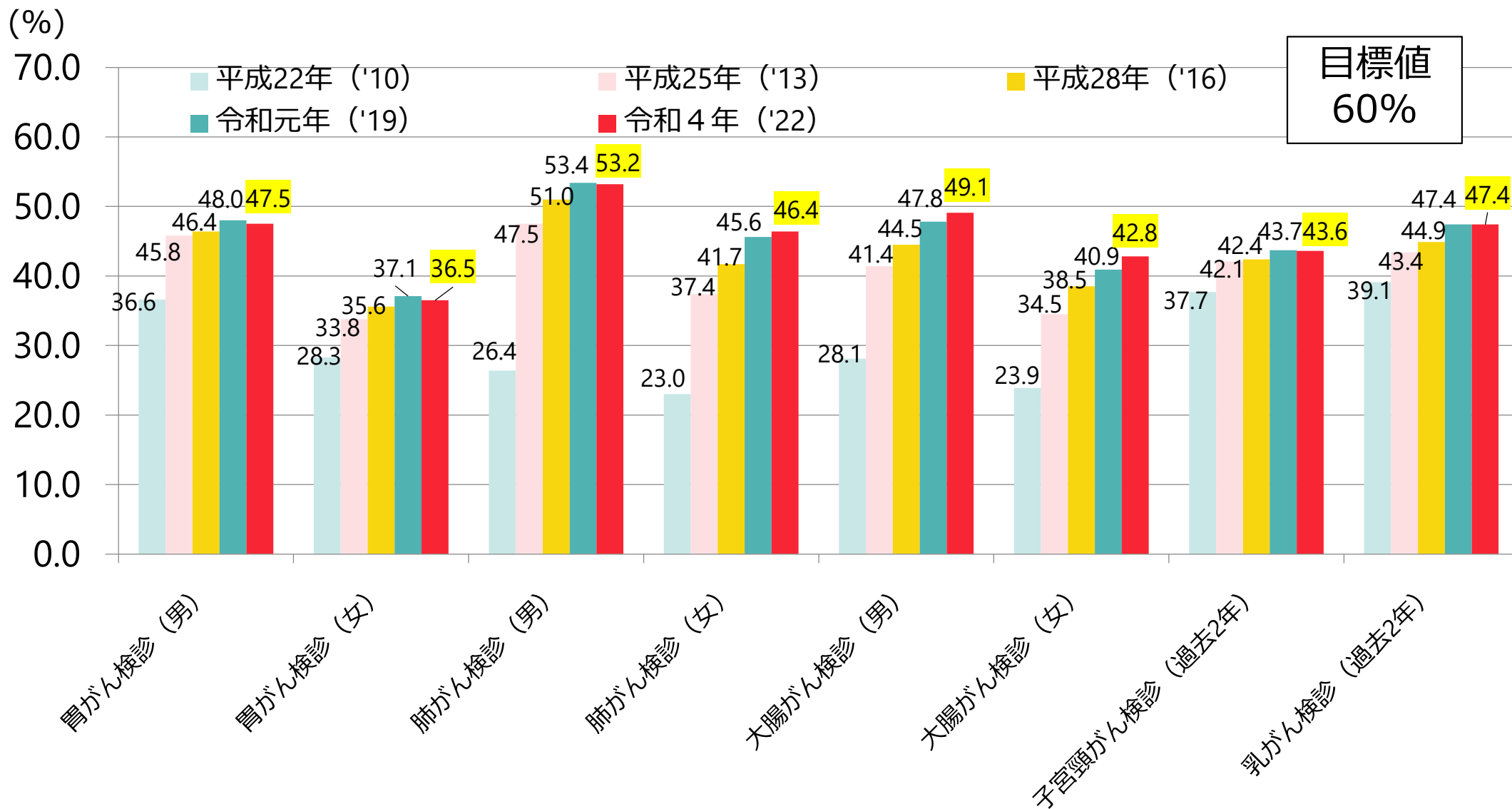
がん検診の受診率の推移

第39回がん検診のあり方に関する検討会

参考資料

令和5年8月9日(水)

5



- 胃がん、肺がん、乳がん、大腸がんは40歳～69歳、子宮がん(子宮頸がん)は20歳～69歳。
- 健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。
- 平成28年調査は、熊本県を除いたデータである。

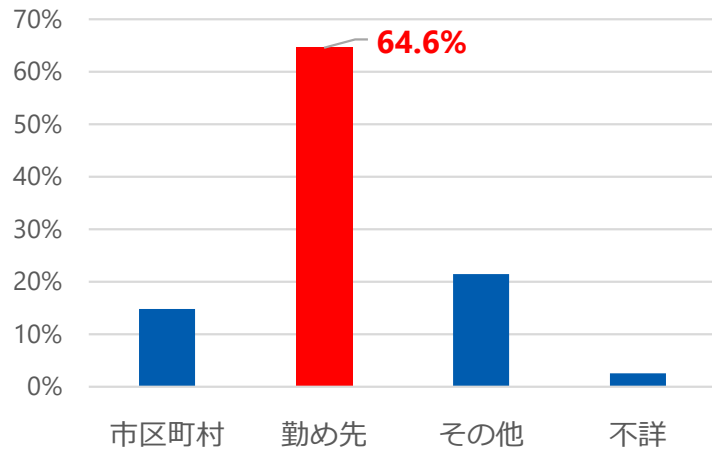
出典：2022年国民生活基礎調査

がん検診の受診機会について

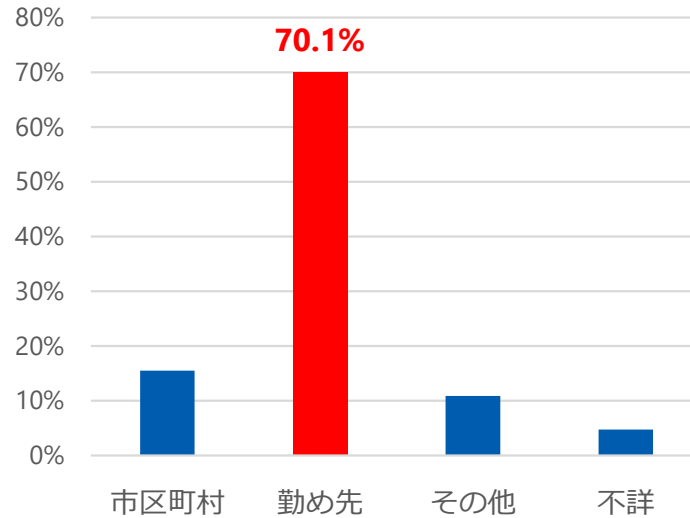
令和5年8月9日（水）

- がん検診受診者のうち、約3～7割が職場でがん検診を受診している。

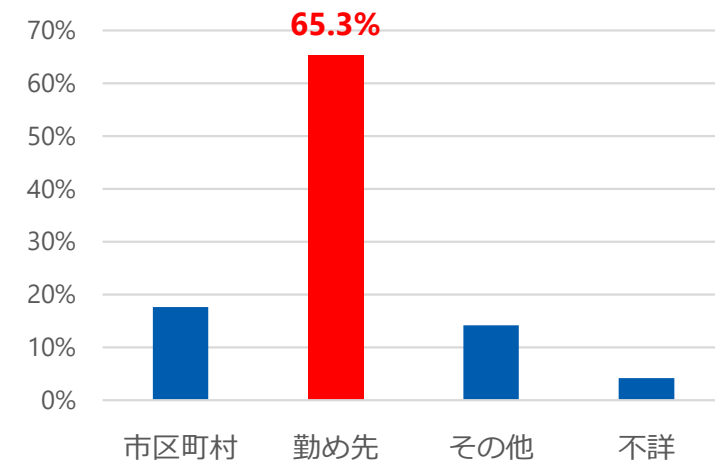
胃がん検診を受けた（過去2年）
（40-69歳）



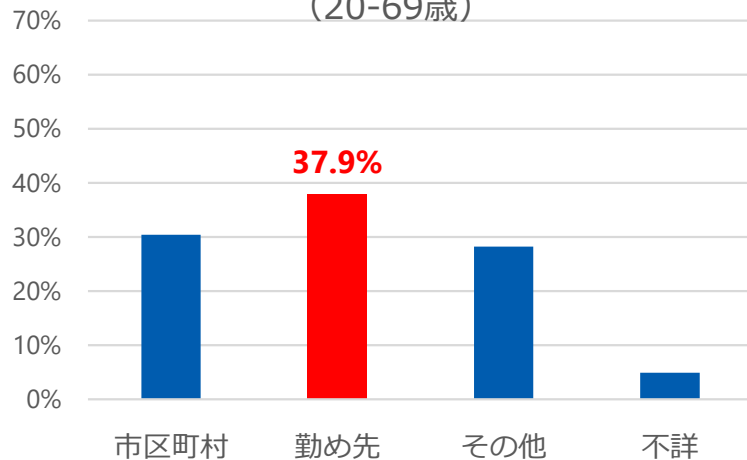
肺がん検診を受けた（40-69歳）



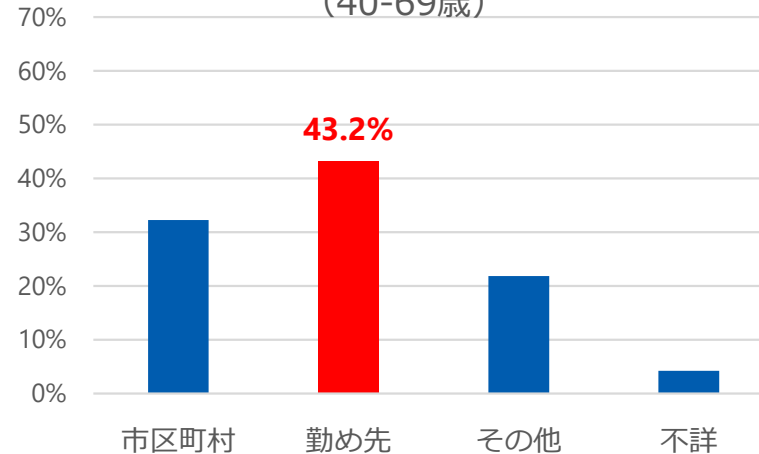
大腸がん検診を受けた（40-69歳）



子宮頸がん検診を受けた（過去2年）
（20-69歳）



乳がん検診を受けた（過去2年）
（40-69歳）



注) 受診機会は複数選択可であるため、最大3%程度、同一人物が複数回答している